

# おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 19 号 (11 月 17 日)

サッカー部保護者の皆様、OB の皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 一年生 完敗から立ち上がれ

11 月 15 日 (土)、天童のサッカー・ラグビー場・第二運動広場にて地区一年生大会が行われました。山東は山形中央と初戦、ラグビー場にて対戦。晴れ渡る天気、気温も温暖。そうした陽気に誘われてか、OB 会の皆様は勢ぞろい。今年の一年生の戦いを見守ろうと応援に駆けつけてくださいました。

今年の山形中央の一年生は特に粒ぞろい。新人チームの FW・MF6 人のうち一年生のレギュラーが 5 人。苦しい展開を予想させる。試合が開始されると案の定、分厚く攻め込まれ、クリアするのもやっと。そのクリアも中途半端で、相手の DF ラインを下げさせるまで行かないものだから、クリアしては拾われまた波状攻撃を受ける最悪の展開。FW **三浦** がなんとかボールを高い位置 (相手ゴールに近い位置) でキープする場面はあるが、チームとしての攻撃につながらず。開始早々は何とか相手攻撃をこらえていたが、前半中盤で立て続けに失点し、前半を 0-2 で折り返す。

後半から FW<sup>たかし</sup>**大志** を投入し、3 トップで一か八か得点を狙いに行く。ただ、DF の連携ミスを着実に突かれ、失点を重ねる。山形中央は高校サッカー選手権をにらんでか主力選手を次々交代させるも、交代で入ってくるメンバーがまた活きが良く、まさに手も足も出ない状況。時折、俊足 FW **桂木** が相手 DF からボールを奪い、チャンスを作り出すも、得点には至らず。結局 0-6 で完敗。GK **琢己** も決して悪くはなかったですし、DF は**孝祐**、**松本** の CDF を中心に守りましたが、敵が強すぎました。完敗を素直に認めましょう。

昨年も、一昨年も一年生大会は一回戦で完敗していますので、ここからどう立ち上がるかが重要だと思います。その点で今年の 2 年生は良い見本になるでしょう。昨年の一年生大会で城北に 0-5 で完敗し、山東サッカーOB 会の HP には「季節に合わせ散ってしまった」と表現された学年が、現在、城北と肩を並べるくらいまで成長しました。現 3 年生も一昨年、同じく山形中央に完敗しこの学年が三年生になったらどうなるのか危惧されましたが、最終的には立派に育ってくれたと思います (その前年度に山東が一年生大会を優勝していたものですから、余計に現三年生を心配しました)。要は、**最終的にどこまで成長するかが重要**なのです！一年生は今回の完敗にめげず、というか、今回の完敗の屈辱を雪ぐべく、激しくトレーニングして欲しいと期待しています。

ちなみに大会はモンテと山形中央が決勝を戦い、モンテの優勝 (スコア 1-0) で終わったそうです。